

伝言板

No.40(R 5.11)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

助成活動……………1	関口信一郎氏が世界の港と水運ネットワークの
みなとサポート事業……………5	発展の歴史を綴いた著書を発刊しました……………9
北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)……………7	当機構のホームページをリニューアルしました……………10
「着ぐるみ貸付事業」の紹介(みなとのマスコット	メールアドレス登録のお願い……………11
「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)……………8	令和5年度 事務局・支部体制……………12

助成活動

道内のみなとまちの活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、みなとまちで実施される様々な事業を支援し、さらなる「みなとまちの活性化」に寄与することを目的に「助成事業」を平成20年から実施しています。

16回目となる今年度においても、各開発建設部の「みなとの相談窓口」を通して推薦していただくと共に、当機構のホームページおよび広報誌「伝言板」で募集要領を掲載し、令和5年4月3日から5月8日にかけて募集しました。

評価審査委員会

今年度は一般の部7団体から7件、特定の部3団体から3件の申請がありました。

採択事業を決定するため5月26日(金)午後から(一社)寒地港湾空港技術研究センター会議室にて、「評価審査委員会」を開催しました。

委員会は、学識経験者2名、当機構理事長及び当

機構理事で構成され、各事業の評価審査を行いました。

審査の結果地域住民との連携、過去の開催実績などを考慮し、申請のありました一般の部7件と特定の部3件全ての事業を採択し5万円から15万円を助成しました。



採択事業

(一般の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・第30回記念うみの日 コンサート ・みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭	・音楽を通して我が町の港に目を向けてもらい、さらには広く海の豊かさ（SDGs 14項目）を感じながらの交流を行う。	・7月17日(月) ・室蘭港エンルム マリナー前庭
②	・漁港区の美化活動 ・みなとコンサート ・女性みなと街づくり苦小牧	・苫小牧港漁港区のホッキまつりに合わせて、フラワーポットを設置し美化を推進する。 ・苫小牧市民文化団体協議会と協同して、みなとに立地する施設を活用し、港への理解と施設の魅力をPR。	・5月・8月・10月・ 12月 ・苫小牧港漁港区、 キラキラ公園ほか
③	・クルーズ船寄港 お楽しみ抽選会事業 ・釧路港みなとオアシス協議会	・クルーズ船の寄港時にお楽しみ抽選会を実施し、釧路港をイメージしたオリジナル柄エコバッグ等を景品の一つとする。エコバッグを使うことで釧路港の魅力をアピールできる。	・クルーズ船寄港時 ・釧路東港区耐震 旅客船ターミナル
④	・第19回 WAKKANAI みなと コンサート ・稚内のみなとを考える女性 ネットワーク	・市民に港への興味を持ってもらい、将来の魅力ある港づくりに貢献する機会とする。 ・稚内の観光名所である歴史的建造物「北防波堤ドーム」内の特設ステージで音楽会を開催し、周辺公共施設への集客を図る。	・7月15日(土) ・稚内北防波堤 ドームステージ



①うみの日コンサート



②漁港区の美化活動



④WAKKANAI みなとコンサート

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
⑤	・ 紋別港防波堤 イルミネーション事業 ・ みなと・まちづくり女性 ネットワークオホーツク	・ オホーツクタワーに接続する親水防波堤などにイルミネーションを設置し、冬季の臨港地区内の景観を向上することで、観光客の誘客及び周辺施設の利用促進を図る。	・ 2月 ・ 紋別市 海洋交流館横
⑥	・ 室蘭港中央埠頭除草、 清掃作業 ・ みなとオアシス室蘭 運営協議会	・ 中央ふ頭並びに桜の植樹箇所の除草・清掃活動を行うことで、植樹の環境を整えるだけでなく、景観が向上し市民の憩いの場として親しまれる港を目指す。	・ 6月1日～ 11月30日 ・ 室蘭港中央ふ頭
⑦	・ Port Clean in 留萌 ・ みなとオアシスるもい 運営協議会	・ 海の日近辺に合わせて、留萌港内の清掃及び漂着ごみのごみ拾いを実施し、留萌港及び周辺環境美化を図り、市民に愛される港とする。	・ 7月14日(金) ・ 留萌港大町地区



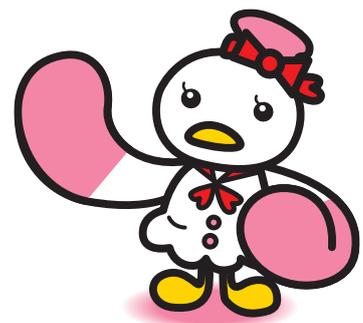
⑤紋別港防波堤イルミネーション事業
(令和4年度事業の様子)



⑥室蘭港中央埠頭除草、清掃作業



⑦Port Clean in 留萌

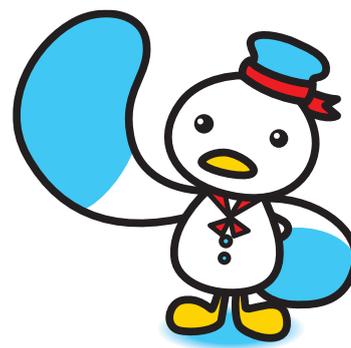


(特定の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	<ul style="list-style-type: none"> ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・室蘭港内を会場とした市民参加の舟漕ぎ大会を通じて、港に対する市民の理解を深め、多くの人に交流の場を提供することで、港を核とした地域活性化に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月3日(日) ・ 室蘭港 絵鞆親水護岸沖
②	<ul style="list-style-type: none"> ・みなと南極まつり稚内副港 ボートレース 2023 ・稚内地元愛育成協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充するためボート競技のイベントを開催し、継続的に開催することによりにぎわい交流拠点の確立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月6日(日) ・ 稚内港第一副港
③	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路港舟漕ぎ大会 ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路港の利用促進に携わる有志が、海上を舞台に競うことで感動できる舟漕ぎ大会を開催し、みなとまちづくり活動を行っている各種団体との連携を図りながら、活気ある釧路の港まちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月5日(土) ・ 釧路川 幣舞橋上流



①むろらん港鉄人舟漕ぎ大会



②みなと南極まつり稚内副港
ボートレース 2023



③釧路港舟漕ぎ大会

みなとサポート事業

みなとサポート事業は開発建設部が開催する「みなと見学会」、「みなとパネル展」、「港に関するアンケート調査」などの実施について、当機構に支援要望のあった業務から支援可能な業務を選択して、会員の“みなとサポーター”が支援するもので、平成20年度から実施しています。

令和5年度は、みなと見学会について小樽港、岩内港、石狩湾新港で要請がありましたが、すべて中止となりました。

また、室蘭港と函館港における「海の日」記念イベント及び「ザ・シンポジウムみなと in 石狩湾新港」でみなとパネル展が開催されました。

苫小牧支部

室蘭港「みなとパネル展」

開催日：令和5年7月17日(月) 10時～16時

開催場所：道の駅「みたら室蘭」2階

開催概要：市民生活と室蘭港の関りについて広く理解していただくために、室蘭開発建設部室蘭港湾事務所が、室蘭港の沿革や取り扱い貨物量の推移、大型クルーズ船の利用、広域防災フロートについてパネル7枚を展示。

北海道みなとの文化振興機構からも、洋上風力発電導入の取り組み、港湾における水素エネルギーの活用のほか、当機構の紹介パネルなど5枚を展示。パネル展の来場者は約170名。

サポーター：1日1名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネルの説明、室蘭港海の日会及び当機構記念グッズの配布



函館支部

函館港「はこだてマリンフェスティバル2023」

開催日：令和5年7月15日(土)～16日(日)

10時～16時

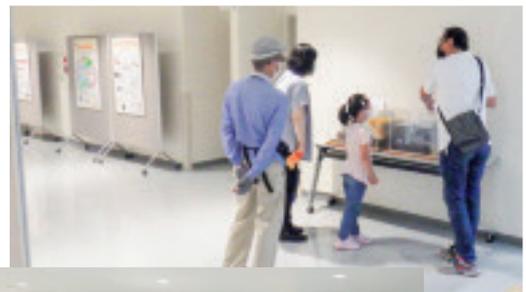
開催場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター2階

開催概要：「はこだてマリンフェスティバル」に協賛して函館開発建設部函館港湾事務所が市民生活と函館港の関りについて広く理解していただくため、港湾パネル18枚や港湾施設模型など展示。

2日間でのパネル展来場者は212名(15日97名、16日115名)。

サポーター：2日間で2名が支援

支援内容：来場者の誘導、パネルなどの説明、当機構記念グッズの配布



「みなとパネル展」

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構は、一般市民に「みなとの役割、暮らしとの関わり合い」を広く理解していただくため、毎年「ザ・シンポジウムみなと（ザ・シンポジウムみなと実行委員会主催）」の開催に協賛して、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

令和5年度の「ザ・シンポジウムみなと in 石狩湾新港」は、洋上風力発電所の工事が始まり、データセンターや大手流通企業の物流センター等の企業立地が進む石狩湾新港について、「石狩湾新港の可能性と未来を語る」をテーマに令和5年10月5日(木)に、シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロで開催され、会場とweb合わせて530名の参加がありました。

パネル展は、シンポジウム会場隣の部屋において、北海道開発局小樽開発建設部、石狩湾新港管理組合との合同展示により、石狩湾新港の歴史や役割、風力発電を中心とした脱炭素化の取組などの展示をシンポジウムに参加された多くの方にご覧いただきました。

当機構からは、「世界と日本の洋上風力発電導入や水素エネルギーの活用に向けた動き」について3枚、「NPO 活動状況の紹介と設立までの経緯」など2枚のパネルを展示しました。

今回のパネル展開催にあたり、石狩湾新港管理組合をはじめ、北海道開発局港湾空港部、小樽開発建設部、小樽港湾事務所の皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。



シンポジウムのポスター



当機構のパネル展の様子



石狩湾新港管理組合のパネル展の様子



小樽開発建設部のパネル展の様子

北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

○新規登録者認証式

令和5年9月7日(木)北海道開発局港湾空港部長室において防災エキスパート新規登録者認証式が行われました。

今年度は5名の方が港湾空港部幹部、農業水産部水産課長と当NPO法人眞田理事長が立会の中、鈴木港湾空港部長より登録通知証と登録証明証の交付を受けました。



○防災エキスパート研修会

防災エキスパート研修会が新規登録者認証式の後15時45分よりTKP札幌駅カンファレンスセンターで、当法人の眞田理事長ほか26名と港湾空港部と農業水産部から4名の課長が参加して開催されました。

最初に主催者である北海道開発局鈴木港湾空港部長より「防災エキスパートの皆様方におかれましては日頃から北海道の港湾・空港・漁港におかれまして特段のご配慮を頂きまして厚く御礼申し上げます。皆様もご承知の通り我が国は地震・津波・台風等の自然災害多発地帯でございます。北海道における地震・津波を見ましても平成に入ってから平成5年の釧路沖地震及び北海道南西沖地震、平成6年

の北海道東方沖地震、平成15年の十勝沖地震と続きまして、平成30年には北海道胆振東部地震が発生し、港湾・漁港施設に甚大な被害を受けたところです。本日ご出席されている方々の中にもこれらの地震の災害復旧業務に携わられた方々がいらっしゃるかと思います。平成30年の北海道胆振東部地震では、北海道開発局の港湾・空港・漁港防災エキスパート制度が平成18年4月に制定されて以来、初めて出勤要請があり現地に参集していただきました。胆振東部地震では北陸地方整備局の「白山」が苫小牧港に入港した際、防災エキスパートの方々に船内での入浴・洗濯・給水支援活動のほか直轄職員をサポートを行っていただきました。この件に関しましても、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、本日は新たに阿部様、栗林様、鈴木様、中村様、牧田様の5名の方を新たな防災エキスパートのメンバーとして登録させていただきました。北海道の港湾・空港・漁港は北海道経済、産業を支える拠点であり、また、災害発生時にはその機能や役割を維持、早期復旧をすることが求められております。是非とも皆様方の豊富な知見・経験を生かして大規模災害発生時には早期復旧に向けた各種活動にご協力いただけますようお願い申し上げます。

さて、本日の研修では切迫する巨大地震、近年の気候変動に伴う台風の強大化、大雨による浸水被害



が発生し、災害リスクが高まっている状況などについて空港・防災課から情報提供させていただきたいと思っております。今後も訓練や研修会を開催してまいりますので引き続きご参加を頂きますとともに災害が発生した際には現地にご参集いただき直轄職員をサポートしていただければまことに幸いです。本研修会が有意義な会となりますことを祈念い

たしまして冒頭の方からのご挨拶とさせていただきます。」とのご挨拶があり、加藤上席専門官より①防災エキスパート制度について、②空港・防災課からの情報提供の後、星空港・防災課長の司会により意見交換が行われ、昨年に引き続き発災時の派遣に関する問題点に対する意見や、他部門での道東への派遣体制の報告などがありました。

「着ぐるみ貸付事業」の紹介 (みなとのマスコット「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)

北海道のみなとのキャラクター「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、みなとが担う役割をおおくの皆様にご理解いただくとともに、海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただくお手伝いキャラクターとして制作しました。海の上を自由に謳歌するかもめを題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージした可愛い着ぐるみです。

平成11年に1号を制作し、好評を得たことから2号、3号と制作、平成25年に4号を制作、現在4組を保有し皆様にご利用いただいております。

「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃんは、NPO法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録を行っております。尚、着ぐるみは、有料とさせていただきます。

今年度貸付は、「根室港 海とみなとパネル展」1件でご利用いただきましたのでご紹介いたします。

「根室港 海とみなとパネル展」

釧路開発建設部根室港湾事務所では、令和5年7月16日(日)に「海の月間」行事の一環として根室市で開催される「海のフェスティバル」(主催：根室港海の日の会)において、「海とみなとパネル展」を開催しました。パネル展では、「根室港の役割」や「根室港の利用風景」等を紹介しました。パネル展以外にもヨーヨー釣りやスーパーボールすくいも行われ

子供達にも大変好評でした。

また、当日は「第65回ねむろ港まつり」が開催され、「舟こぎレース」や「ねむろまるごとバザール」などが行われ多くの家族連れで賑わいました。



関口信一郎氏が世界の港と水運ネットワークの発展の歴史を繙いた著書を発刊しました

寒地港湾空港技術研究センター特別調査役の関口信一郎氏が「世界港湾史 ～世界の港と水運ネットワークの発展史」を発刊しました。本書は古代メソポタミアから人類の経済活動を支えてきた海上交易と港の発展について、地形や気象・海象、社会活動など、それぞれ異なる条件のもとでいかに発展し、港湾が形成されてきたかを、世界史全体を俯瞰してつまびらかにする初の港湾史であります。

あわせて、日本近代土木工学が果たした役割を明らかにし、廣井工学を港湾史に位置づけた“廣井評伝”の完結策ともなり、前著「北海道みなとまちの歴史」に続く港湾史シリーズの第2弾であります。

世界の主要港が有する地理的条件や経営戦略から、独自の発展を遂げたその変貌を一望できる著書として推薦します。

本書購入のお問い合わせ先は下記の通りです。

(本書パンフレットより引用)

発行・発売 (株)亜璃西社 (ありすしゃ)

<https://www.alicesha.co.jp>

〒060-8637 札幌市中央区南2条

西5丁目メゾン本府7F

Mail : info@alicesha.co.jp

TEL : 011-221-5396

FAX : 011-221-5386

(担当：井上)



ギリシャのピレウス港



古代ローマと3度にわたり戦ったカルタゴの遺跡(航空写真)
円形の軍港とその下に商港



イスタンブールのカラタ地区からボスポラス海峡を望む(1900年頃)
中央奥の水路はダーダネルス海峡を通り地中海に至る 左方向は黒海に通じる

(本に掲載されている図版より)

当機構のホームページをリニューアルしました

当機構では、既存のホームページの掲載情報を再整理し、閲覧性を高めるとともに、北海道みなとの文化研究室の活動成果である、『北海道みなとまち紀行』等の北海道のみなとを広く伝えるためのコンテンツを充実したホームページにリニューアルし、8月1日にリリースしました。

今回のリニューアルでは、単にデザインの変更にとどまらず、見やすさに加えて「特にどういった人に見ていただけるようにするか」に主眼を置いた抜本的な改修となることから、北海道みなとの文化研究室メンバーを中心としたワーキンググループを組織して作業を進めました。

具体の改修作業は外注とし、外注先とは3月末に契約、4か月間の工期で完成を目指すこととしました。この間、戦略フェーズと開発フェーズの2段階に分け、戦略フェーズでは誰をターゲットとしたどのようなホームページにするかを考える会議を4月～5月にほぼ毎週1回、開発フェーズではどのようなデザインや機能を持たせるかなどを考える会議を6月～7月にほぼ毎週1～2回開催しました。

ホームページ作成を外注すると外注先に全てをお任せというケースが多いようですが、今回はWGメンバーが主体的に考える形をとり、みんなが納得するものにしようと検討を重ねました。特にHPのコンセプトづくりにはこだわり、選抜メンバーによるブレインストーミングで《みなとを好きになつてが未来の「みなとプロ」を育む》と決めました。ここには会員の諸活動によって、学生など若い世代が港に興味を持ち、将来港に関係する仕事に就くなど港の仲間になって欲しいという願いを込めています。そ

のためには、今回リニューアルしたホームページも更に内容を充実させていく必要があります。今後の当機構ホームページにご期待ください。

最後となりましたが、本プロジェクトに参加してくださいましたワーキンググループのメンバーと、本プロジェクトの受注先であるスタークリエイツ(株)梅沢太一社長には献身的にご対応いただきました。記して謝意を表します。

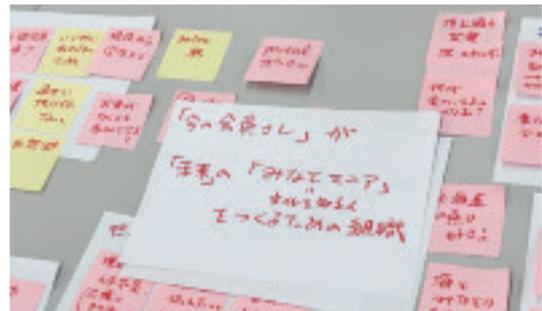
◆ホームページ改修ワーキンググループメンバー

梅沢信敏	北海道みなとの文化研究室長
秋葉洋一	北海道みなとの文化推進機構 事務局長（当時）
大前 豊	北海道みなとの文化推進機構 事務局次長（当時）
根本任宏	北海道みなとの文化研究室 調査役
飯田 誠	北海道みなとの文化研究室 調査役
井元忠博	北海道みなとの文化研究室 調査役
高橋淳子	北海道みなとの文化研究室 エディター
館岡真理	北海道みなとの文化研究室 コーディネーター
平川智春	北海道みなとの文化研究室 アディター

※アディターとはアイデアを出す人を意味する造語。



メンバーによるブレインストーミングの様子



付箋に出し合った問題・課題・アイデアと暫定的に決められたコンセプト



旧ホームページのトップ画面



新しいホームページのトップ画面

特定非営利活動法人（NPO 法人）北海道みなとの文化振興機構ホームページ

<https://minatobunka-npo.info/>

または で検索

メールアドレス登録のお願い

いつも当機構の活動にご理解とご賛同を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先日リニューアルいたしました Web サイトの更新情報などを発信するメールニュースを開始することとなりました。

これにより、会員の皆様の活動をより活性化することを旨すとともに、情報発信の迅速化を図りたいと思います。

本ページの QR コードまたは Web サイトのトップページより、メールアドレスの登録フォームにアクセスしていただき、お名前とメールアドレスをご記入ください。

よろしくお願い申し上げます。





令和5年度 事務局・支部体制

令和5年度の事務局体制については、事務局長が7月に交代し、8月までに3名の事務局次長が退任し、3名が新任となり、13名で活動しています。また、支部については、札幌支部及び函館支部並びに釧路支部において役員が変更となっており、さらに、苫小牧支部に役員が追加となっています。

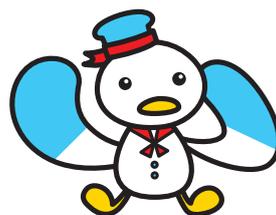
引き続き活力あるみなとまち作りを会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

事務局

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	上田 裕章	事務局次長	石川 洋一
事務局次長	斉藤 賢悦	事務局次長	飯田 誠
事務局次長	高木 哲夫	事務局次長	平尾 利文
事務局次長	宮部 秀一	事務局次長	牧田 佳巳
事務局次長	渥美 洋一	事務局次長	栗林 則夫
事務局次長	鈴木 一行	事務局次長	井元 忠博
事務局次長	秋浜 政弘		

支部

役職	氏名	役職	氏名
札幌支部長	千葉 不二夫	苫小牧支部長	秋葉 洋一
札幌支部次長	今林 弘	苫小牧支部次長	竹腰 隆志
函館支部長	川村 求	釧路支部長	佐藤 浩彰
函館支部次長	中村 篤	釧路支部次長	伊藤 文彦



ぼーとん



べいくりん

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710

E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp → mail@minato_bunka.info

(メールアドレスが新しくなりました)

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこととございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<https://minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5F